

表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対する通常内視鏡と超音波内視鏡を用いた病変の深達度予測に関する研究の情報公開

1. 研究の対象

2010年2月から2020年7月に当院で表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対して内視鏡検査および超音波内視鏡を施行し、その後内視鏡治療もしくは外科手術を行った症例です。

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：術前の深達度診断に関わる内視鏡および超音波内視鏡所見について検討することです。

方法：消化器内科医2名による内視鏡画像の後方視的検討です。

研究期間：実施承認日から2022年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・検査画像、テキスト情報（病理診断情報/臨床診断結果/病変サイズ/肉眼形態分類/部位情報 など）です。

4. 外部への試料・情報の提供はありません。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学 助教 角嶋 直美
住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65 電話 052-744-2172 内線 2144